



特定非営利活動法人  
まちなか研究所

**わcac**

# 2023年度 事業報告書

-第20期-

## 目次

ミッション

2023年度ハイライト

Special Thanks

事業部総括

組織運営

体制



# 当会の使命と基本理念



【使命】2004年設立(2005年2月法人認証)

すべての人々が、自ら暮らすまちを  
想い、考え、納得してつくっていけるような市民社会の実現

【合言葉】

みんなで「決めて」みんなが「つくる」そんな社会づくりのために、  
まちわくは人と組織を「つなぎ」「話し合う」場と社会環境をつくります。

【基本理念】

- みんなで決めてみんながつくるまちづくりの活動と活動サポート
- 市民公益活動を行う団体の活動サポートと市民社会のインフラ整備
- 参加型の場づくりの企画運営と人材育成
- 地域のNPOモデルとなるような継続的な市民活動の組織運営

# 法人概要



名称	特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく
設立年月日	2004年4月1日
法人設立年月日	2005年2月25日 NPO法人格取得
事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
代表理事	小阪 亘
住所	〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5民衆ビル4F
TEL & FAX	098-861-1469
Email	office@machiwaku.com
URL	<a href="http://www.machiwaku.com/">http://www.machiwaku.com/</a>

# 事業部門

Impact  
社会的影響

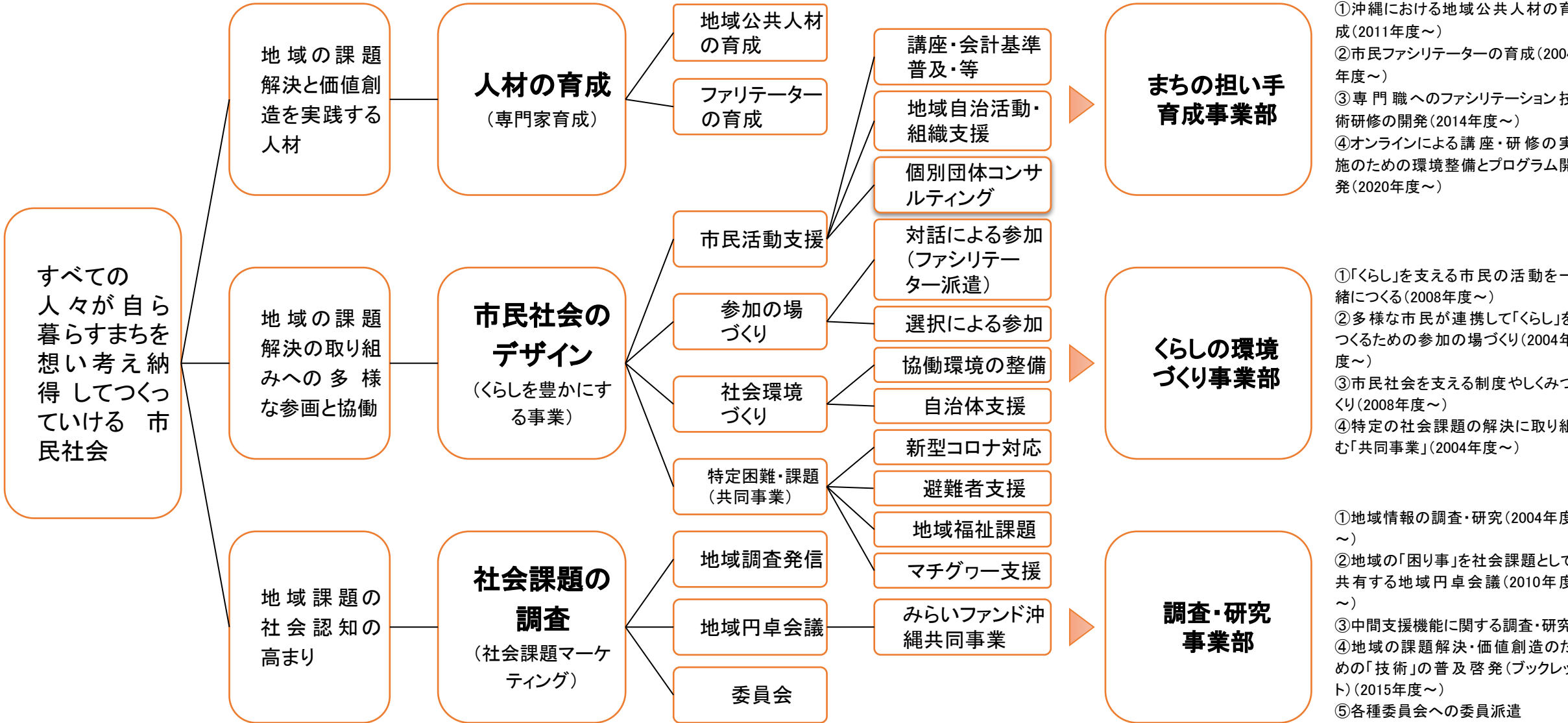
Outcome  
成果

Output  
直接的結果

Input  
投入(事業)

事業部門

事業部方針



# 2023年度事業ハイライト

## 沖縄地域社会ビジョン大学院 ゼミ(全4回)の実施

これまで実施していた約2か月のプログラム(講座+ゼミ)はプログラム見直しのため休止し、オンラインにて全4回のゼミを実施。ゼミテーマを「地域づくりの新しい視点を考える」として、各分野で活躍する本大学院の修了生を話題提供者に迎えて、参加者とともにテーマについて議論した。

## ぎのわん地域づくり塾 2023の実施

「令和5年度宜野湾市地域リーダー等養成講座事業」(宜野湾市)を受託し、普天間第二小学校区を学びのフィールドに第6期となる「ぎのわん地域づくり塾2023」を実施。塾生15名が3チームに分かれ、地域で集い、話し合うための企画提案を行った。2016年第1期から第6期までの修了生は136名。

## 8社協にて、アドバイザー業務を実施

読谷村、北中城村、本部町、八重瀬町、恩納村、北谷町、宜野座村、糸満市の8社会福祉協議会において、「地域福祉活動計画/地域福祉推進統合計画/地域福祉推進行動計画等の策定支援」や「第2層・第3層協議体の運営支援」、「職員一体となった地域支援アプローチ」のアドバイザー業務を担った。

## 介護保険事業所におけるBCP策定研修会の講師を担う

介護保険事業所における自然災害対応BCP(事業継続計画)策定研修会(計5回)の講師を担った。

## 「第16回マチグワー楽会」で新たな 那覇市第一牧志公設市場を散策

テーマを「新市場を遊ぶ ぐるぐるマチグワー・ぐるぐる模合ー」として、2023年3月にリニューアルオープンした那覇市第一牧志公設市場を散策。

## 地域円卓会議年16本実施

2023年度に16回の地域円卓会議を開催。2011年度から2023年度までで、計143回開催。

## 総務の効率化・負担軽減

インボイス制度開始に伴い、請求書作成クラウドソフトを使用。また法人クレジットカードを作成し職員の立替等負担を軽減。現金支出等の業務を減らし支出管理がしやすくなるなど改善を行った。



令和5年度宜野湾市地域リーダー等養成講座事業「ぎのわん地域づくり塾」の様子



第16回マチグワー楽会 公設市場回遊見聞「新たな市場発見」の様子

# 2023年度 組織運営

会 員	正会員14名／賛助会員2名(3口)
通常総会の開催	2023年5月23日(火) 19:30～21:00 てる屋にて開催
決算理事会の開催	2023年4月29日(土) 13:00～17:00 まちなか研究所わくわく事務所にて開催
理事会の開催	まちなか研究所わくわくの運営に関して1か月～2か月に1回理事による運営会議を開催。 必要に応じて、理事会を開催 (理事会:年2回、理事ミーティング:年3回、拡大理事会:1月)
監 査	2023年4月25日(火) 19:00～20:30
関連団体	公益財団法人みらいファンド沖縄 マチグワー楽会
加盟組織	小規模多機能自治推進ネットワーク会議(会員) NPO法人会計基準協議会(会員) 認定特定非営利活動法人日本NPOセンター(会員) 新栄通商店街振興組合(会員)

# 2023年度 理事会の役割・内容

1. 中長期的な計画や予算・組織編制・人事など、団体の方針に関する判断(意思決定)
2. 助言やイベントへの協力など、現場の支援
3. ネットワーキングなど、外部への働きかけ

月		内容
4月	4.29 決算理事会(第1回) －対面	審議事項:2022年事業報告書(案)・決算書(案)、2023年度職員基本給、通常総会招集の件承認 協議事項:－
7月	7.31第1回理事ミーティング －オンライン	報告議題:月次業務報告、月次会計報告 審議事項:－ 協議事項:業務進捗の確認、20周年記念事業について
9月	9.26第2回理事ミーティング －対面&オンライン	報告議題:月次業務報告、月次会計報告 審議事項:－ 協議事項:20周年記念事業について、上半期事業実施報告&収入見込み、川中理事話題提供「加藤哲夫とNPO」
11月	11.1第2回理事会 －対面&オンライン	報告議題:月次業務報告、月次会計報告 審議事項:長期借入金返済について 協議事項:－
1月	1.9拡大理事会 －対面	報告議題:現況／昨年度からの自主事業づくりの協議プロセス 審議事項:－ 協議事項:それぞれが見ている&抱えている課題・情報共有、2024年度まちわくで取り組むこと&一緒に実現したいこと
2月	2.28第3回理事ミーティング －対面&オンライン	報告議題:月次業務報告、月次会計報告 審議事項:－ 協議事項:今年度決算見込み、賞与の判断、次年度事業計画&予算計画の検討

# 2023年度 事務局体制

事務局長	宮道喜一
まちの担い手育成 事業部	常勤:宮道、小阪亘、下地美香、金城陽平 非常勤:樋口文
くらしの環境づくり 事業部	常勤:宮道、小阪、下地、金城 非常勤:樋口、桜井野亜(沖縄じゃんがら会)(4~7月)、宮崎浩枝(沖縄じゃんがら会)(4~7月)
調査・研究 事業部	常勤:小阪、宮道、下地、金城 非常勤:樋口
総務・経理部	常勤:小阪、宮道、下地
受入インターン	なし

小阪 亘 公益財団法人みらいファンド沖縄 代表理事  
 一般社団法人全国コミュニティ財団協会 副会長  
 一般社団法人全国レガシーギフト協会 理事  
 NPO法人1万人井戸端会議 理事  
 認定NPO法人アンビシャス 理事  
 株式会社オフィスハート 役員

職員が外部役職を  
務める主な団体

宮道喜一 NPO法人ハンディサポートふれんど 理事  
 一般社団法人災害プラットフォームおきなわ 理事  
 一般社団法人FEEL Do 理事  
 社会福祉法人沖縄県共同募金会 評議員  
 社会福祉法人那覇市社会福祉協議会 評議員  
 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 総合企画委員会 委員  
 社会福祉法人沖縄県社会福祉協議会 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター 運営委員長  
 沖縄国際大学 非常勤講師  
 一般財団法人非営利組織評価センター 評価員  
 石嶺小学校区まちづくり協議会 子ども育成部会 部会長  
 石嶺小学校PTA 副会長



# 2023 Special Thanks (敬称略)

## 沖縄地域社会ビジョン大学院2023

- ゼミにおける話題提供者
  - 中村庄吾(鮮魚スーパー「フレッシュマートナカムラ」店長、沖縄地域社会ビジョン大学院4期生)
  - 浅倉彩(やんばるホテル南溟森室withNIPPONIAブランディングディレクター、株式会社TiBee代表取締役、沖縄地域社会ビジョン大学院4期生)
  - 金城完紀(通信制高校サポート校トライ式高等学院のキャンパス長、沖縄地域社会ビジョン大学院7期生)
  - 喜瀬斗志也(南城市役所企画部 まちづくり推進課 係長、沖縄地域社会ビジョン大学院6期生)

## ぎのわん地域づくり塾2023

- モデル地区
  - 普天間三区自治会 渡名喜庸松
  - 新城区自治会 山城百合子
  - 喜友名区自治会 知念桂子



# 市民社会を実現する まちの担い手育成 事業部

市民がまちの担い手として活躍する市民社会の実現に向けて、地域の課題解決と価値創造を実践し、多種多様なまちの主体をつなぐことのできる人材の育成。

## ●事業部方針(2023年度)

- ①沖縄における地域公共人材の育成(2011年度～)
- ②市民ファシリテーターの育成(2004年度～)
- ③専門職へのファシリテーション技術研修の開発(2014年度～)



ぎのわん地域づくり塾 2023

方針 番号	事業分類	実施 時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	地域公共人材の育成	—	<p>■沖縄地域社会ビジョン大学院2023 公開講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ「自ら治まる”まちづくり～東近江の事例から考える、住民の参画による小さな成功体験の大切さ～」</li> <li>・ 日時:2023年9月12日(火)19:00-21:30</li> <li>・ 場所:アイム・ユニバースてだこホール市民交流室、参加料:2,000円</li> <li>・ 参加者:30人</li> <li>・ 基調講演講師:山口美知子氏(公益財団法人東近江三方よし基金常務理事兼事務局長)</li> <li>・ パネリスト:田村 浩介 氏(株式会社いきがいきレーション代表取締役、NPO法人いきがいきLABO 共同代表)、喜瀬 斗志也 氏(南城市役所企画部 まちづくり推進課 係長)</li> </ul> <p>ゼミ(計4回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ テーマ「地域づくりの新しい視点を考える」</li> <li>・ 開催日:10月から毎月第3火曜日 10/17、11/21、12/19、1/31(全4回実施)</li> <li>・ 会場:オンライン(zoom)、参加料:1,000円/1回</li> <li>・ 参加者数(延べ)計:38人(1回目8人、2回目13人、3回目5人、4回目12人)</li> </ul> <p>■ぎのわん地域づくり塾2023(宜野湾市地域リーダー等養成講座)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィールド:普天間第二小学校区</li> <li>・ 塾生15名(修了生15名、内皆勤賞4名)</li> <li>・ 日程:10/7(土)～11/11(土)(全8回講座)</li> <li>・ 会場:普天間三区・新城区・喜友名区公民館・普天間第二小学校地域連携室他</li> </ul> <p>■5/29「令和5年度第1回市町村各単位民児協会会長研究協議会」(県社協)</p> <p>■7/26「八重瀬町民生委員児童委員連合会研修会」(八重瀬民児協)</p> <p>■7/22「おきなわ国際協力人材育成事業(OIC ユース2023)」(JOCA)</p> <p>■7/25「サンゴキッズサマースクール2022」(恩納村社協)</p> <p>■8/14「うるまキッズサマースクール2023」(うるま市社協)</p> <p>■3/15「与那城民生委員児童委員協議会研修会」(与那城民生委員児童委員協議会)</p>	2,702
②	講師・ファシリテーター派遣による市民ファシリテーターの育成	通年		-
③	専門職へのファシリテーション技術研修	通年	<p>■9月、令和5年度沖縄子供の貧困緊急対策事業「支援員及び子供の居場所の活動支援事業(研修会)」(一般社団法人Co-Link)</p>	60

## ①沖縄における地域公共人材の育成（2011年度～）

## ＜沖縄地域社会ビジョン大学院＞

- ・本大学院が開始して11年となり、社会状況の変化や類似の人材育成プログラムも増えてきたため、本講座のプログラム（講座＋ゼミ）の見直しの年とした
- ・公開講座を「自ら治まるまちづくり～東近江の事例から考える、住民の参画による小さな成功体験の大切さ～」テーマに実施し、またプログラム見直しの検討素材として「地域づくりの新しい視点を考える」をテーマにゼミ（全4回）を実施。各分野で活躍する本大学院の修了生を話題提供者に迎えて、地域づくりの視点を協議した
- ・昨年と同様に助成金の活用を検討し申請を行なったが採択とならなかった

## ＜ぎのわん地域づくり塾2023＞

- ・初めて小学校区をモデル地区に開催。テーマを「集い、話し合い」として、公開講座で円卓会議、第1回で校区内活動発表と、新たなプログラムで実施
- ・受講生15名／40名定員。小学校区としたことにより、モデル地区自治会を設定した年度より自治会の参加が少なかった
- ・受講生15名全員が修了し、満足度は高かった
- ・地域学校コーディネーターが7名参加し、育成の場として活用できた。また、講座修了後の接続として、チームの企画提案を宜野湾市のまちづくり助成申請につなげ、3チームとも申請。その後の動きにつなげることができた

## ＜その他＞

- ・小中学生向けのサマーボランティアプログラムを2地域でファシリテーターを担当
- ・民生委員研修（会長・地域）の講師を担当

## ②市民ファシリテーターの育成（2004年度～）

## ＜主催ファシリテーター講座＞ 未実施

## ＜ファシリテーター・講師派遣＞ なし

## ③専門職へのファシリテーション技術研修の開発（2014年度～）

- ・地域福祉領域や児童分野など、多職種連携が求められる現場でのファシリテーション技術ニーズの広がり

## ＜沖縄地域社会ビジョン大学院＞

- ・ゼミ（全4回）の実施をまとめを行う
- ・次年度以降のプログラム検討（目的、期間、目指す人材像等）が必要
- ・助成金の活用を検討する

## ＜ぎのわん地域づくり塾＞

- ・公募型となり、モデル地区選定と講座実施までに時間がかかるため、公募の時期を早められるよう担当者と調整。モデル地区承認にあたっては、個別の自治会訪問では時間がかかるため、自治会長会で全自治会へ説明を行い、協力依頼を行う
- ・事業の実施体制として、市市民協働課と市教育委員会生涯学習課の庁内協働体制へ継続されているが、市社協の関わりが薄くなっている。市社協の参加について市から正式に協力依頼を働きかける
- ・塾生募集について、ターゲットの明確化を行い、商工会等への協力調整
- ・提案された企画について、地域から資金を調達するしかけや、企画実施をバックアップするしくみがほしい

## ＜地域公共人材の育成について＞

- ・民生委員児童委員協議会の事務局研修及び災害支援についての企画提案の検討
- ・那覇市小学校区まちづくり協議会の中核を担う人材に向けたプログラム提案

- ・20周年記念事業として、当会のメッセージとしての主催講座の検討

- ・外部連携ファシリテーターとの勉強会の実施
- ・当会スタッフのファシリテーションスキルの向上につなげる

- ・地域福祉推進の現場（地域ケア会議、民児協定例会議、協議体の運営等）、地域福祉コーディネーター職に向けた研修の機会提供について検討
- ・建設・まちづくり現場におけるファシリテーションについては、ニーズを再確認



沖縄地域社会ビジョン大学院 2023 公開講座



ぎのわん地域づくり塾 2023 喜友名区のフィールドワーク



3/6市町村各単位民児協会長研究協議会



サンゴキッズサマースクール2023(恩納村社協)

# 市民社会をデザインする くらしの環境づくり 事業部

市民の力で自ら暮らすまちをつくる事業部。

## ●事業部方針(2023年度)

- ①「くらし」を支える市民の活動を一緒につくる(2008年度～)
- ②多様な市民が連携して「くらし」をつくるための参加の場づくり(2004年度～)
- ③市民社会を支える制度やしきみづくり(2008年度～)
- ④特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」(2004年度～)



方針番号	事業分類	実施時期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	市民活動・NPO活動等の基盤強化	10-3月	<b>■沖縄県NPO等支援個別相談事業「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会」</b> 11月「NPO法人等非営利組織対象会計税務個別相談会～インボイス制度のお悩み相談～」(相談7件)、2/16(金)「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会in石垣」(相談3件)、3/18(月)19(火)「NPO法人等非営利組織専門家個別相談会」(相談12件)	962
			<b>■基盤強化に関する講座等支援事業</b> 4-10月なは市民活動支援センター講座2023(主催:那覇市)、4月「2023年度トヨタ財団国内助成プログラム公募説明会in沖縄」(主催:トヨタ財団)、8月「NPOのためのインボイス講座」(主催:沖縄県)、9月「トヨタNPOカレッジ「カイケツ」体験合宿in沖縄」(主催:トヨタ財団)等事務局支援	1,693
		通年	<b>■組織支援</b> NPO法人へのコンサルティング、NPO法人等個別相談5件※相談記録の件数 等	49
			・グッドガバナンス評価業務(一般財団法人 非営利組織評価センター(JCNE)) 依頼あったが調整つかず未実施	-
		通年	<b>■おきなわ市民活動支援会議</b>	-
②	「くらし」をつくるための参加の場づくり	通年	<b>■参加の場づくり(講師・ファシリテーター派遣)</b> 8月ボランティア受入講座(なは市民活動支援センター)、9月介護支援専門員連絡会糸満支部全体研修会、9月社会福祉施設等におけるBCP策定推進研修会(沖縄県社協)、9月いっぽ子育て支援セミナー・ファシリテーター派遣、11月災害時のBCP策定支援研修(県ケアマネ協会)、11月障害福祉施設におけるBCP策定推進研修会(沖知協)、11月市町村社協災害対応マニュアル策定に向けた個別検討会(沖縄県社協)、12月ボランティア受入れ研修(沖縄県VC)、1月沖縄県協働に関する研修(沖縄県)、3月災害ボランティアセンター運営者研修会(沖縄県社協)、等の講師・ファシリ派遣	1,841
			<b>■与那原町第3次地域福祉活動計画・WS(与那原町社協)</b> 与那原町第三次地域福祉活動計画策定に向け、住民、福祉事業者の視点を反映するため、全3回「みんなで地域活動を考えるワークショップ」を開催。社協より企画運営、ワークショップ通信作成を受託。開催日:1/10(水)、1/29(月)、2/7(水)、参加者数(延べ)計:99人(第1回34名、第2回31名、第3回34名)	
			<b>■みんなでつくる久場川公園ワークショップ(那覇市公園建設課)</b> 開催日:12/16、1/27、2/17(全3回開催)、参加者数(延べ)計:65人(第1回24名、第2回24名、第3回17名)	
③	市民社会を支える制度やしきみづくり			-
④	特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」	通年	<b>■福島県県外避難者への相談・交流支援事業</b> 県外避難者への生活再建支援拠点設置・運営。福島県事業。ふくしま連携復興センターより、沖縄じゃんがら会と共同事業体で受託。連携の取り組みとして関係機関訪問とケース会議を実施。	7,362
		通年	<b>■地域福祉課題:市町村社会福祉協議会アドバイザー業務</b> 右記の8社協(読谷村/北中城村/本部町/八重瀬町/恩納村/北谷町/宜野座村/糸満市)	4,771
		通年	<b>■市場中央通り第1アーケード協議会運営支援</b> :会議支援・事業計画・管理計画作成・NEWSの作成支援など	-
		2月	<b>■マチグワー楽会(第16回)</b> テーマ:新市場を遊ぶーぐるぐるマチグワーーぐるぐる模合一、開催日:2/24(土)	
		3月	<b>■能登半島地震支援:</b> 「輪島市災害たすけあいセンター(輪島市社会福祉協議会内)」への運営支援(災害ボランティア活動支援プロジェクト会議による派遣(宮道))	-

## ①「暮らしを支える市民の活動を一緒につくる(2008年度～)

＜沖縄県NPO等支援個別相談事業＞

- ・ 近年、社会課題に取り組む団体形態は、NPO法人だけでなく任意団体(人格なき社団)、一般社団法人や企業などの多様性がみられるため、対象団体を「非営利組織」とした。
- ・ インボイス制度や電子帳簿保存法など新しい制度がはじまるため、専門相談を会計・税務と組織運営にしぼった。
- ・ 石垣相談会では、会計・税務相談の申込がなく、組織運営相談が想定より1件多い3件の対応となった。

＜災害時の中間支援機能強化＞未実施

- ・ 一般社団法人からの相談は全相談の内 1件だった。NPO法人以外の団体へのアプローチ・広報の工夫が必要
- ・ インボイス制度の相談の中には消費税に関する質問も多かったため、消費税について理解する機会が必要

＜災害時の中間支援機能強化＞「一般社団法人災害プラットフォームおきなわ」が行う「沖縄における災害支援ネットワーク構築に向けた『おきなわ防災ポケットプロジェクト』(おきポケ)」への参画を検討

## ②多様な市民が連携して「暮らしをつくるための参加の場づくり(2004年度～)

＜与那原町第3次地域福祉活動計画・WS＞

- ・ 全3回の住民WS開催と、WS通信の作成。広報等は社協が実施、福祉施設と住民が交流する機会となったことがよかった。学生などの若い世代の参加や、福祉との関わりがやすい住民の参加はなく、意見の偏りが気になった。

＜みんなでつくる久場川公園ワークショップ＞

- ・ 公園建設計画について住民意見を得ることを目的としワークショップを開催。近隣小中学校の児童の参加があり、世代間で異なる意見の交流ができていた。

- ・ 「対話」をベースとした参加の「広がり」と「深まり」への戦略を検討
- ・ 「行政計画・事業への参加」から、「住民による主体的な課題解決」の要請、「制度化された住民参加」へどう向き合うかの戦略を検討
- ・ NPOを通じた社会参加の機能、「ハード」「ソフト」のまちづくりへの参加、地域福祉領域・教育領域などにおける参加の場づくりについての戦略検討と、気軽なハードルの低い社会参加の形を検討する。新しい参加の形研究会(仮称)の実施等

＜与那原町第3次地域福祉活動計画・WS＞

- ・ 参加者設定は、出てくる意見に大きく影響するため、設計時点での参加者の想定と偏りは議論しても良かった

## ③市民社会を支える制度やしきみづくり(2008年度～)

—

—

## ④特定の社会課題の解決に取り組む「共同事業」(2004年度～)

＜県外避難者支援＞ 東日本大震災から13年が経過。避難が長期化し、避難者のライフステージの変化や、避難者という背景が見えにくくなっている現状がある。事業の方針が変わり、関係機関の連携の必要性はありつつ、これまでのネットワーク会議というかたちでの開催ができなくなった。関係機関訪問とケース会議を実施。サークル活動、情報提供も拠点事業で実施

＜マチグワーに関すること＞ 新・第一牧志公設市場がオープンし、新・アーケード整備に向けて工事が始まる

＜地域福祉の推進＞ 社協アドバイザー業務が8社協となり、昨年度の倍となる

＜介護保険事業所BCP策定支援＞ 計画策定の義務化に伴い、研修依頼や、社協からのBCP策定支援の依頼へとつながった

この10年の成果を検証する

＜県外避難者支援＞ 避難者事業ではなくコミュニティへの移行を考える必要がある。その際、これまでのネットワーク会議でつくってきた地域の関係機関へ引き継ぎが必須

＜マチグワーに関すること＞ アーケード協議会の活動支援の継続。マチグワー楽会は、新しい公設市場のオープンに伴うマチグワーの変化の記録(聞き取りや定点観測)。

＜地域福祉の推進＞ 社協アドバイザー業務について、取り組んだ過去3年で取り組んだ成果とメニューを発信。職員へのノウハウ共有と人材育成

＜介護保険事業所等のBCP策定支援＞ BCP策定後の訓練や研修、計画見直しについてアプローチ





ボランティア受入れ研修(主催: 沖縄県社会福祉協議会、沖縄県ボランティア・市民活動支援センター)



NPO法人等非営利組織専門家個別相談会 (主催: 沖縄県)



みんなで作る久場川公園ワークショップ



2023年度トヨタ財団国内助成プログラム公募説明会in沖縄

# 社会課題を調査する 調査・研究 事業部

市民目線での地域課題の調査・研究。

## ●事業部門方針(2023年度)

- ①地域情報の調査・研究(2004年度～)
- ②地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議(2010年度～)
- ③中間支援機能に関する調査・研究
- ④地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及啓発ブックレット(2015年度～)
- ⑤各種委員会への委員派遣



子どもの体験と交流・オンライン配信に関する円卓会議

方針 番号	事業分類	実施時 期	事業の概要	収入年額 (単位:千円)
①	地域情報の調査・研究	通年	■ 県内市町村における高齢者見守りのしくみ実態調査業務 (委託者:(公財)みらいファンド沖縄)	1,043
		通年	■ 地域情報誌「み～きゆるきゆる」 vol.1-8販売中	38
②	地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議	通年	<p>■ 地域円卓会議運営(16本)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>7/1(土)【第2回】沖縄の養豚と食資源循環に関する地域円卓会議 主催:琉球大学COI-NEXTフード・トランスフォーメーションが結ぶ環境・観光アイランド実現拠点 参加者:101名</li> <li>7/18(火) 認知症まちづくり地域円卓会議in首里 主催:沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者:40名</li> <li>7/19(水)子どもの体験と交流・オンライン配信に関する地域円卓会議 主催:琉球新報社・スタジオレゾナンス共同事業体 参加者:49名</li> <li>8/25(金)どうするどうなるどうしたい勢理客地域防災円卓会議 主催:一般社団法人まちづくりうらそえ《派遣》</li> <li>9/9(土)誰でも使える公民館あり方を考える地域円卓会議 主催:宜野湾市市民協働課、宜野湾市教育委員会 参加者:45名《ぎのわん地域づくり塾公開講座》</li> <li>9/22(金)認知症まちづくり地域円卓会議in北中城・宜野湾 主催:特定医療法人アガペ会、沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者:47名</li> <li>10/28(土)沖縄木育円卓会議 主催:沖縄県 農林水産部 森林管理課《派遣》</li> <li>11/14(火)子どもの体験保障を考える地域円卓会議 主催:公益財団法人みらいファンド沖縄 参加者:56名</li> <li>12/12(火)認知症まちづくり地域円卓会議in南風原 主催:沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者:45名</li> <li>12/17(日)子どもの音楽体験を考える地域円卓会議 主催:一般社団法人C-BRASSウインドオーケストラ 参加者:6名</li> <li>1/31(水)子どもの体験を支えるネットワーク円卓会議 主催:公益財団法人みらいファンド沖縄 参加者:6名</li> <li>2/6(火)八重山圏域インバウンド受入れを考える地域円卓会議 主催:与那国町 参加者:14名</li> <li>2/9(金)八重瀬町文化交流拠点施設(仮称)建設に関する地域円卓会議 主催:八重瀬町 参加者:69名</li> <li>2/13(火)【第3弾】認知症まちづくり中間評価地域円卓会議 主催:沖縄認知症見守りコンソーシアム 参加者:11名</li> <li>3/16(土)市町村議会の役割と課題を知る地域円卓会議 主催:那覇市議会 無所属の会 参加者:7名</li> <li>3/27(水)オンライン職場体験の可能性を考える地域円卓会議 主催:株式会社ワンスペース 参加者:10名</li> </ul> <p>■ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>12/8(金)認知症地域づくりシンポジウム企画運営協力(参加者46名)</li> <li>3/20(水・祝)沖縄・離島の子どもの体験保障を考えるシンポジウム企画運営協力(参加者20名)</li> </ul>	4,468
③	中間支援機能に関する調査・研究		■ 持続可能な地域社会を実現する中間支援機能の検証と展開 研究会(全5回)	410
⑤	委員派遣	通年	・ 沖縄県ボランティア・市民活動支援センター運営委員／沖縄県共同募金委員会評議員／那覇市社会福祉協議会評議員／災害時における災害ボランティアセンター運営に関する関係機関連絡会／うるまキッズサマースクール実行委員会委員	18

## ①地域情報の調査・研究(2004年度～)

—

- これまでの実践と知見(南城市における地域計画策定のための全住民調査、地域福祉活動計画や自治会単位の小地域福祉計画策定のための地域アセスメント、地域情報誌「み～きゆるきゆる」の作成、地域防災活動における地域分析など)を当会内でのノウハウ化

## ②地域の「困り事」を社会課題として共有する地域円卓会議(2010年度～)

- みらいファンド沖縄と共同で開催し、13年目
- 16本対応。内、対面8本、ハイブリッド4本、対面+録画2本、派遣2本
- 参加者の少ない円卓会議があり、広く課題を共有できなかったことが残念。また、配信事業で購入したカメラなどの機材を実際に使用し、配信や記録を行った
- 行政施設の整備プロセスの一部で行われた地域円卓会議において、アリバイ的な市民参加の場として使われてしまった。整備の一連のプロセスにおける地域円卓会議の位置づけを確認してから請けることが必要

- 「地域円卓会議」後の次の展開につながるプログラムづくり(アフター円卓会議のプログラム化)を検討
- 地域での開催を想定した「簡易版・地域円卓会議」のプログラム化を検討
- 司会と板書の人材育成
- ファシリテーションやファシリテーショングラフィックのスキルアップ
- 広報期間と方法について検討
- 配信機材の活用と扱うスタッフの育成

## ③地域の課題解決・価値創造のための「技術」の普及・啓発(ブックレット)(2015年度～)

- 書籍「地域コミュニティ支援が拓く協働型社会—地方から発信する中間支援の新展開」の「11章 沖縄式地域円卓会議の運営と展開」を執筆(宮道)

- 上記①に関連するテキスト化を検討

## ④委員派遣(2004年度～)

—

- 継続して対応していく





認知症まちづくり地域円卓会議 in首里



子どもの体験を支えるネットワーク円卓会議



八重山圏域インバウンド受け入れを考える地域円卓会議



市町村議会の役割と課題を知る地域円卓会議

# 総務部

法人の円滑な運営。

## ●事業部方針(2023年度)

- ①働きやすい職場、職員の福利厚生及びスキル向上のための環境整備
- ②コロナ禍による経営環境の変化への対応
- ③総務業務の効率化・負担軽減
- ④法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上
- ⑤理事会における適切な判断のための情報提供
- ⑥会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり
- ⑦法人設立20周年に向けた準備



方針番号	事業名	実施時期	事業の概要
①	働きやすい・活動しやすい・スキル向上のための環境整備	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■人事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023年4月、6月～3月:非常勤職員(樋口文さん)採用</li> <li>・ 2023年7月末日、櫻井さん・宮崎さん、契約満了で退職</li> </ul> </li> <li>■労働環境 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康診断実施状況(受診:3職員、未受診:1職員)、健診オプション(上限2万円まちわく負担可)</li> </ul> </li> <li>■人材育成(研修参加)</li> </ul>
②	コロナ禍による経営環境の変化への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>■コロナ関連融資 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ特例貸付(沖縄公庫)10,000,000円を返済</li> </ul> </li> </ul>
③	総務の効率化・負担軽減	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■会計 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月次会計(黒字8ヶ月、赤字4ヶ月)</li> <li>・ 給与計算ソフトはPX2、労務管理ソフトはジョブカン、MoneyLink(金融明細の一元管理アプリ)を継続使用。インボイス制度対応として新たに請求書等作成クラウドソフト「インボイス王」を使用</li> <li>・ 電子帳簿保存法への対応</li> <li>・ 法人クレジットカードを作成&gt;法人支払い(特に引落関係)はカードを使用</li> </ul> </li> </ul>
		通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 【税務】大城税理士事務所と顧問契約及び一部業務委託</li> <li>・ 【労務】とまと社労士オフィスと顧問契約及び一部業務委託</li> </ul>
④	法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■広報 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HPリニューアル準備(業務をOlde(武田佳子さん)へ依頼)</li> <li>・ メールマガジンの発信(9回)</li> </ul> </li> </ul>
⑤	理事会における適切な判断のための情報提供	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>■組織運営 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総会の開催(5月)</li> <li>・ 理事会の開催(年2回)、理事ミーティングの開催(年3回)</li> <li>・ 拡大理事会の開催(1月)</li> </ul> </li> </ul>
⑦	法人設立20周年に向けた準備	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実行委の発足、各部会の立ち上げ(実行委/年表・座談会/記念誌/非営利セクター総括/HPリニューアル/み～きゅるきゅる合併号/祝賀イベント実行委員)</li> <li>・ 実行委員会の開催(6/29、8/31、11/30、2/29)拡大理事会(1/9)</li> <li>・ 「マー坊ター坊のまちづくりハッピーレディオ」へ2回出演し創業期のふりかえり・記録(小阪・宮道)</li> <li>・ 第45回南島文化市民講座「沖縄の市民活動～NPO法施行25周年を機に沖縄の市民活動の未来を考える～」へ登壇(小阪)</li> </ul>

**非常勤職員の採用**

- ・ 6月より非常勤職員（樋口）を採用。20周年事業、円卓会議業務を担当。主に在宅勤務とし働きやすい環境を整備した。

**総務の効率化・負担軽減を図った**

- ・ 法人クレジットカードを作成したことで個人立替の負担がなくなった。また現金支出も減ったため総務業務の負担が減り、支出管理もしやすくなった
- ・ インボイス制度開始に伴い、請求書作成クラウドソフトを使用することで、インボイス対応した請求書、領収書の作成ができ、入金管理もしやすくなった

**コロナ関連の融資の返済**

- ・ コロナ関連の助成金等の受給はなかった
- ・ 資金ショートを防ぐためコロナ特例貸付（沖縄公庫）を返済

**職員の基礎スキル向上のための機会****理事によるスタッフ面談の実施**

- ・ 職員（下地・金城・樋口）のスタッフ面談は未実施

**理事・会員とともに2023年度事業振り返りと次年度事業に向けてのミーティング「拡大理事会」を開催****法人設立20周年 事業の実行委員会を発足**

- ・ 各部会を立ち上げ、実行委員会を開催し進捗を共有

**ホームページのリニューアル準備**

- ・ ホームページのリニューアル作業を依頼し準備を行った。

**会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会づくり（勉強会）は未着手**

- ・ 正会員が昨年度よりも減っている

以下について取り組む。

**職員の待遇・福利厚生及びスキル向上のための環境整備**

- ・ 物価上昇にともなう給与昇給の検討が必要
- ・ 職員への健康診断受診の促し

**証憑のクラウド管理**

- ・ 電子帳簿保存に対応する証憑保存のルールを職員全体に共有する

**総務業務の効率化・負担軽減**

- ・ 引き続き土業との連携、請求書ソフト（インボイス制度対応）システムを使用

**法人の信頼性向上と提供サービス明確化のための情報発信力の向上**

- ・ 2024年5月にホームページリニューアル公開を予定
- ・ メールマガジンのFacebookへの転載発信

**文書の管理・整理**

- ・ 文書規定や経理規定の策定

**理事会における適切な判断のための情報提供****会員・理事・スタッフ・ボランティアの交流機会**

- ・ 正会員が減少傾向にある。20周年事業への取り組み等現会員やこれまで当会に関わりのある方へ声かけし交流の機会を設ける

**法人設立20周年に向けた準備**

- ・ 周年記念事業として主に
  - ①座談会の開催、②HPリニューアル、③祝賀イベントの開催、④記念誌作成を予定





2023.4 事務所にて監査の実施



2023.5 てる屋にて通常社員総会を開催



2023.4 事務所にて決算理事会を開催



2023.11 まちわく20周年実行委員会

# 2023年度 役員・会員名簿

---

理事

小阪 亘(代表理事・常務)  
宮道 喜一(副代表理事・常務)  
與儀 隆一  
岩田 直子  
南 信乃介  
親泊 正樹  
川中 大輔(社外理事)

---

監事

伊良皆 和弘  
喜屋武 真司

---

顧問

伊藤 雅春  
小野 尋子

---

正会員  
(14名)

岩田 直子、小阪 亘、小阪 孝義、  
小松 かおり、野原 巴、宮道 喜一、  
與儀 隆一、親泊 正樹、南 信乃介、  
佐藤 学、知念 忠彦、饒波 正博、  
賀数邦彦、平良 光弥

---

賛助会員  
(2名)

(一社)wellbeDesign、續洋子

---



特定非営利活動法人まちなか研究所わくわく  
2023年度(令和5年度)事業報告書 -第20期-

〒902-0065 沖縄県那覇市壺屋1-7-5 民衆ビル4F

TEL & FAX: 098-861-1469

Email: office@machiwaku.com

**<http://www.machiwaku.com/>**